

◎ 二宮仕法とはどんな考えで、どんなことが行われたか調べてみましょう。



二宮仕法とは、

- ・ 生活をひかえめにし、むだづかいをしないで、しんけんにはたらき、いつも子孫や他の人にゆずるものを残して生活すること。
- ・ 村の中でがんばっている人を投票によって選んで、表しようし、はげみとすること。

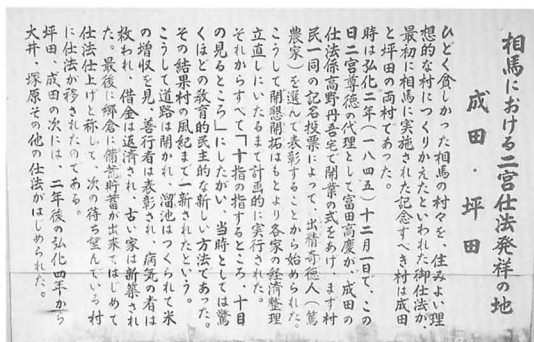
これが考えのもとになっています。

この仕法が最初に行われたのは、成田村・坪田村でした。高慶は2つの村のようすをくわしく調べました。

家族の人数、田の広さ、水の便、取れ高、家のようすなどくわしく調べました。調べたことをもとに、むだなことや仕事の仕方を教えたり、つつみや用水路を直したり、新しく作ったりしました。



仕法が初めて行われた土地



初めて行われたことを表す案内板

さらに、真剣にはたらく人を表しようしたり、困っている人には家や農具、馬などをあたえました。また、人を増やすために遠くから人をよんだりしました。

二宮仕法により、村のくらしがよくなってくると自分たちの